

JR の責任産別として  
組織と運動を磨き、  
すべての関係者との対話を通じて  
強しなやかな JR 産業を築こう!

<https://www.jr-rengo.jp>



# JR 連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10  
東興ビル9階  
TEL (NTT) 03-3270-4590  
FAX (NTT) 03-3270-4429  
1部 20円 (但し組合費に含む)

facebook

JR 連合

(旧 twitter)

JR 連合

●発行者/上村良成 ●編集者/宮野勇馬

## 加入速報

### JR北海道労組から JR連合JR北労組に加入 (11月1日付)

### 自動車支部北広島分会

### 全国のJR連合の仲間は 心から加入を歓迎します

議員懇・議員フォーラム所属議員  
JR連合の政策実現に向け  
関係議員が参議院予算委員会で質疑



榎葉参議院議員

榎葉議員は、小泉進次郎防衛大臣に対し、国防予算に占める公共インフラ整備費に、「鉄道」が計上されていないとの回答を引き出したうえで、海外では有事の際に貨物鉄道が活用されていることに言及し、「日本においても鉄道を防衛に関連した重要なインフラと位置付けるべき」「有

### 「貨物鉄道の重要性」について質す

翌13日には、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属し、同じく参議院選挙で再選を果たした浜野よしふみ議員が同予算委員会において、「鉄道料金の改定」について質疑に立った。

11月12日、参議院予算委員会において、JR連合国会議員懇談会の会長を務め、本年7月の参議院選挙で再選を果たした榎葉賀津也議員(国民民主党幹事長)が、「貨物鉄道の重要性」について質疑を行った。

## 議員懇・議員フォーラム所属議員 JR連合の政策実現に向け 関係議員が参議院予算委員会で質疑

土・領海・領空を守るためにいかなる構えが必要か、そういった観点からあらゆる選択肢を検討していきたい」旨の答弁をした。

するべき」旨を指摘した。これに対し、小泉防衛大臣は、「鉄道活用という面も含め、戦略三文書の改定の様々な議論の中で、日本の防衛力整備、日本の治安、また平和、そして日本の領

### 「鉄道料金の改定」について主張

浜野議員は、「骨太方針2025」に盛り込まれている、物価上昇に合わせた公的料金の点検・見直しを踏まえ、金子恭之国土交通大臣に対し、「予算・



浜野参議院議員

の薬価などについても検討を進めていくべき」と指摘した。これに対し、金子国土交通大臣の答弁は、「国土交

## 連合 2026 春季生活闘争中央討論集会



賃上げ目安として「賃上げ分3%以上、定昇相当分含め5%以上」のほか、中小労組などの格差是正が提起された

### 連合2026春季生活闘争中央討論集会 闘争方針の策定に向けて、 JR連合の課題認識を発信

連合は10月31日、都内で2026春季生活闘争中央討論集会を開催し、各産別、地方連合会などから、オンラインを含め総勢574人が参画した。



住吉労働政策局長

主権者を代表して挨拶した芳野友子会長は、「2026春季生活闘争は日本社会全体の正念場であり、一人ひとりが『未来づくり春闘』を牽引する主役であることを自覚して取り組もう」と決意を述べ、「賃上げノルムの確立」「格差是正」「働き方改善」「ジェンダー平等・多様性推進」「仲間づくり」の5点について所見を述べた。

基調講演、委員会報告の後、事務局から提起された「基本構想」では、「実質賃金を1%上昇軌道に乗せ、賃上げノルムにしよう」とする基本スタンスが示され、賃上げ目安は「賃上げ分3%以上、定昇相当分含め5%以上」のほか、中小労組などは格差是正分として1%以上を加えることや、有期・短時間・契約等労働者は、最低賃金引上げ率を上回る7%以上の構想が提起された。

全体討議では、各産別の代表者らが「賃上げを当たり前にし、格差拡大に歯止めをかけるべき」「すべての

### 2025年年末手当要求及び妥結状況表

単組名	2025年				2024年
	要求日	要求内容	妥結日	妥結内容	妥結内容
J R 北労組	10月22日	3.0ヵ月	11月26日	2.05ヵ月 12月12日支払	2.0ヵ月 12月13日支払
イーストユニオン	10月20日	3.2ヵ月	11月11日	3.0+0.1ヵ月 12月3日支払	2.9ヵ月 12月3日支払
J R 東海ユニオン	10月7日	3.3ヵ月	11月12日	3.1ヵ月 12月10日支払	3.0ヵ月 12月10日支払
J R 西労組	2月6日	年5.7ヵ月	3月11日	年5.3ヵ月 12月10日支払	年5.2ヵ月
J R 四国労組	10月1日	2.8ヵ月	11月21日	2.44ヵ月 12月5日支払	2.28ヵ月 12月6日支払
J R 九州労組	10月1日	3.0ヵ月	11月20日	2.8ヵ月 12月10日支払	2.55ヵ月 12月10日支払
貨物鉄産労	10月14日	3.07ヵ月	11月19日	1.74ヵ月 12月5日支払	1.62ヵ月 12月6日支払

## 2025年年末手当 JR単組で妥結 昨年を上回る 回答引き出す

J R 7単組は、11月26日までに2025年年末手当にいて、全単組で昨年を上回る回答を引き出し妥結した。職場で奮闘する組合員の努力により、J R 各社は順調に業績が向上し、各社ともに慎重な経営姿勢を背景に、各単組とも要求には届かない回答であった。併せて、物価上昇に実質賃金が追いつかない現状でもあり、組合員の年末手当への期待は大きなものとなっていた。

各単組は、組合員の負担に応えるべく、最後の最後まで、粘り強く交渉にあたり、

通省は収入原価算定要領を見直し、物価上昇に対応できる仕組みとしており、複数の事業者が運賃改定を実施している。今後も適時適切に対応していく」との内容に留まった。

の変化に応じて料金が反映できる措置を検討すべき」と主張した。

鉄道運賃・料金への価格転嫁に関する課題は山積しているが、J R 産業を将来にわたって持続的に発展させていくために、関係議員との連携をさらに深め、引き続き取り組みを進めていく。

その後、交通政策課との意見交換を行い、ローカル線に関する協議状況や北陸新幹線敦賀以西ルート課題、オーバードライヴの現状等について情報を共有した。

### 京都府知事・交通政策課と意見交換 JR連合の政策活動への理解を求める

J R 連合は11月17日、京都府を訪問し、府を訪問し、交通政策に関する意見交換を実施した。

京都市議、近藤宏和向に市議に参画いただいた。



西脇知事は「地方交通は全国的に同じ課題に直面しており、採算だけを考えると、答えは出ない。どのように公費を投入するか知恵を絞らなくてはならない」と述べるとともに、北陸新幹線敦賀以西ルート問題や、獣害被害についても、解決に向け連携していく





JR 連合は、2023 年に更新した友好協定に基づき、台湾鉄道の労働組合である台湾鉄路企業工会との連帯を深めるため、上村会長を中心とする台湾鉄路企業工会第16次訪台団を結成し、10月13日、18日にかけて台湾を訪問した。

### 台湾鉄路企業工会第16次訪台団 友好協定に基づき 相互の連帯を確認

台湾鉄路企業工会は、1993年6月「日華鉄道労働者人物交流に関する協定」を締結して以降、2019年11月の第14次訪台団に至るまで毎年実施して



訪台初日には、台湾鉄路企業工会童世哲理事長以下の歓迎を受け、上村会長は「今回の訪問によって、両者の連帯が一段と深まることを願う」と挨拶した。

歓迎交流会には、台湾鉄路公司(会社)トップの馮輝昇総経理が出席し、公的民営化後も



集会参加者で芳野連合会長を囲む

## 2025連合ジェンダー平等推進中央集会 これまでの取り組みを力に 男女平等を推進しよう

連合は、10月24日、東京都内にて、2025連合ジェンダー平等推進中央集会を開催した。集会には構

冒頭、連合の芳野会長は、「これまでの先輩方の奮闘により、女性の働き方、生き方は、着実に変化してきた。今後、ジェンダー平等の実現に向けて、これまでの歴史を振り返り、未来へとバトンを

安全な鉄道を不断に追求していくことの重要性等について意見を交わした。JR 連合は引き続き、理念を同じくする国内外の労働者と連帯して取り組んでいく。

つなげていかなければならない」と挨拶した。基調講演では、早稲田大学・浅倉むつ子名誉教授から男女雇用機会均等法制定をめぐる議論や雇用分野に残されている課題、これからの労働組合に期待することなどが提起された。

また、基調講演を受けてのディスカッションでは、労働組合として同法の制定に向けてどのような運動を展開し、職場にどう波及させてきたかといった議論が行われた。

## 自動車連合会第33回総会 持続可能なJRバス産業を 直面する課題を議論

自動車連合会は10月28日、大阪市内にて第33回総会を開催した。全国から

JR バス産業で働く仲間が集まり、人手不足をはじめとするバス産業の課題解決に向けて議論を交わした。冒頭、自動車連合会を代表して挨拶に立った矢田尊弘代表幹事(JR西労組西バス地本執行委員長)は、人手不足の中であっても、増加する観光・インバウンド需要に対応している組合員の奮闘に謝辞を述べるとともに、安全確立はバス労働者の最大の使命であり、A B C 運動等の安全の取り組みを推進していくと呼びかけた。

JR 連合からは上村会長、石川産業政策局長、谷口昌隆組織局長が出席し、代表して挨拶した上村会長は、産業基盤としての安全確保

現場の声を共有し  
組織課題を議論  
翌25日には、JR 連合第20回女性役員意見交換会を開催した。

冒頭、上村会長は、昨年モロッコで開催されたIT F 世界大会では代議員の半数が女性であったことに触れ、「世界では女性参画は進んでおり、日本社会の遅れを痛感した。女性が働きやすい職場は誰にとっても働きやすい職場である」とJR 産業全体での環境改善を呼びかけた。

意見交換では、参加者から「役員の経験を通してネットワークが広がり、異動しても仕事がしやすくなった」「社歴が浅くても相談できる人が増えた」などの声が寄せられた。一方で、組合



北海道地協第7回定期委員会

10月19日、JR 連合北海道地方協議会は札幌市内で第7回定期委員会を開催し、向こう1年間の活動方針を決定した。安全の確立、民主化闘争の完遂、経営自立に向けた取り組みをはじめとする各種課題に関する認識を共有し、新体制を確立するとともに、力強く活動を展開していく決意を固めた。冒頭、挨拶に立った人見圭一議長(JR北労組中央執行委員長)は、安全の確立について、JR 北海道が「強化型保安監査体制」下にある現状に触れ、また

## 北海道地協第7回定期委員会 真つ当な労働運動を

針を決定した。安全の確立、民主化闘争の完遂、経営自立に向けた取り組みをはじめとする各種課題に関する認識を共有し、新体制を確立するとともに、力強く活動を展開していく決意を固めた。冒頭、挨拶に立った人見圭一議長(JR北労組中央執行委員長)は、安全の確立について、JR 北海道が「強化型保安監査体制」下にある現状に触れ、また



自動車連合会総会第33回総会

確認し、参加者は導入のメリット等を体感するとともに、組織での活用方を想定した。また、意見交換では、万博輸送への営業所一丸となった取り組みを聞くとともに採用、教育研修について議論し、有意義な機会となった。



女性役員意見交換会

こくみん共済coopNEWS

「たすけあいの輪をむすぶ」  
こくみん共済 coop は、  
次のステージへ

公式キャラクター  
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉coop

全国労働者共済生活協同組合連合会

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

処遇改善の重要性について討議を行い、すべての議案が満場一致で承認された。

役員選出では、新しく幹事に、田口広太氏(JR北労組中央執行委員長)が

選出され、再任された人見議長のもと、新執行体制を確立した。

《四役》  
議長 人見圭一  
(JR北労組)  
副議長 菊地克敏  
(貨物鉄産労)  
事務局長 斎藤洋治郎  
(JR北労組)  
事務局次長 吉永 和史  
(貨物鉄産労)

新規加盟組合紹介

私たち鉄道運輸機構労働組合(鉄構労)は、独立行政法人 鉄道・運輸機構(JRTT)で働く組合員から構成される社内唯一の労働組合です。当機構は整備新幹線を含む鉄道新幹線の建設を専門とする我が国唯一の公的機関であり、1964年に設立された日本鉄道建設公団を前身としています。公団設立時は職員のほとんどが国鉄出身者であり、元組合員だったのですが、国鉄時代の所属組合によらずひとつの組合を作ろうということで61年前に結成されたのが私たち組織の始まりです。

鉄道運輸機構労働組合

《略称：鉄構労》

鉄構労は組合員750人の単組ですが、北海道から九州まで全国に6支部を展開して活動しています。JR 連合とは交運労協を通じて長年共闘させていただいており、特に2021年以降、執行委員同士の意見交換会を定期開催するようになり、2023年には共同で「高速鉄道・新幹線ネットワークの構築と計画推進に係る政策提言」を発表するなど、連携を深めてきました。

今回、新たにJR 連合の一員に加えていただきました。組織名に「JR」が入っていないので「謎の組織」と感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、週れば国鉄を祖先とする遠い親戚筋ですので、仲良くしていただけたら幸いです。

整備新幹線、特に北陸・西九州新幹線の延伸工事は着工が遅れている状況ですが、四国等も含めて、日本経済の成長エンジンである全国新幹線鉄道網の完成は急務です。営業主体・建設主体の労組が一丸となったJR連合の力で、着工を後押ししていけたら嬉しいのです。これから共に頑張りましょう。

鉄構労 第62回定期大会

JR 連合加盟を組織決定した鉄構労第62回定期大会